

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

科目番号：大学-312

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
C言語1		10	0	20	30
科目概要	<p>C言語でプログラミングするための文法知識とスキルを講義及び、マシン実習で習得する。プログラム仕様をもとに、アルゴリズムの作成とプログラミング及び、デバッグ作業を行い、仕様に沿ったプログラムの作成ができるスキルを習得する。</p> <p>なお、本学科は、IT企業のシステム開発でC言語プログラミングに携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・C言語の特徴と基本文法を理解する。 ・変数、繰り返し、分岐、配列の基本文法を用いたC言語の記述ができる。 ・配列を理解し、配列を用いたC言語の記述ができる。 ・関数を理解し、宣言や呼び出しができる。 ・ポインタを理解し、配列と引数に指定することができる。 ・構造体を理解し、構造体を用いたC言語の記述が出来る。 				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1, 2	かんたんなプログラムを作る	18	配列を使用したプログラミング実習	
	3	C言語の基本的なルール			
	4	変数	19	文字列操作を使用したプログラミング実習	
	5, 6	演算子	20	メモリとアドレス	
	7, 8	条件分岐 (if文, switch文)	21	ポインタ変数の使い方	
	9	if文とswitch文を使用したプログラミング実習	22	ポインタ変数を使用したプログラミング実習	
	10, 11	繰り返し処理 (for文, while文)	23	構造体	
	12	for文, while文を使用したプログラミング実習	25	構造体配列と構造体ポインタ	
	13	関数	27	共用体	
	14	変数とスコープ	28	ファイル処理	
	15	ユーザー関数を使用したプログラミング実習 (モジュール分割)	29		
	16	一次元配列	30	科目試験	
	17	二次元配列			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	やさしいC	SBクリエイティブ		
実習環境	borandC++5.5				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	ペーパー試験 実習評価		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

科目番号：大学-313

科目名		時間数(90分)				
		講義	演習	実習	合計	
C言語2		0	0	15	15	
科目概要	<p>C言語でプログラミングするための文法知識とスキルを講義及び、マシン実習で習得する。プログラム仕様をもとに、アルゴリズムの作成とプログラミング及び、デバッグ作業を行い、仕様に沿ったプログラムの作成ができるスキルを習得する。</p> <p>なお、本学科は、IT企業のシステム開発でC言語プログラミングに携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>					
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・C言語1を発展させて、より深くC言語を理解する。 ・構造体を理解し、構造体を用いたC言語の記述が出来る。 ・ポインタを理解し、活用できる。 					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1,2	C言語1の復習				
	3,4	いろいろな型				
	5,6	配列・ポインタの応用				
	7~14	個人実習課題				
	15	科目試験				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	やさしいC		SBクリエイティブ		
実習環境	borandC++5.5					
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	<p>ペーパー試験 実習評価</p>		<p><評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可</p>			

科目名		時間数(90分)			
デザインパターン		講義	演習	実習	合計
		20	10		30
科目概要	「ギャングオブフォー(GoF)」の『デザインパターン』で紹介された23個のパターンを、オブジェクト指向の初心者にもわかるようにやさしく解説する。すべてのパターンについて、Javaのサンプルプログラムの解説を通じて、オブジェクト同士の設計に必要なスキルを習得する。				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象クラスやインターフェースを理解する。 ・クラス図を理解する。 ・オブジェクト指向設計で多用されるデザインパターンの仕組みを理解する。 ・デザインパターンを使用したJavaのサンプルプログラムを理解する。 ・章末の課題を解決するため、Javaのサンプルプログラムを修正して実行する。 ・主なデザインパターンを理解する。 				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	デザインパターンの前提とUML	13	第17章 Observer	
2	第1章 Iterator 処理を繰り返す	第18章 Memento			
	3	第2章 Adapter 一皮かぶせて再利用	14	第19章 State	
	4	第3章 Template Method	15	第20章 Flyweight	
	5	第4章 Factory Method	16	第21章 Proxy	
	6	第5章 Singleton	17	第22章 Command	
	7	第6章 Prototype	18	第23章 Interpreter	
	8	第7章 Builder, 第8章 Abstract Factory	19 ～ 29	章末の課題	
	9	第9章 Bridge 第10章 Strategy	30	科目試験	
	10	第11章 Composite 第12章 Decorator			
	11	第13章 Visitor 第14章 Chain of Responsibility			
	12	第15章 Facade シンプルな窓口 第16章 Mediator			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	Java 言語で学ぶデザインパターン 入門第3版	SBクリエイティブ		
実習環境	JDK				
	JCPad				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・科目試験		<評価基準>		
			100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
応用情報技術者対策講座		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	<p>応用情報技術者試験の午前問題の一部及び情報処理安全確保支援士の午前Ⅱの出題範囲となる「3.技術要素(データベース)」「4.開発技術」「6.サービスマネジメント」について、試験に向けた総復習を行う。</p> <p>使用教材は試験対策テキストを主とするが、前提科目で使用したテキスト及び補助資料を活用し上記出題範囲を網羅した指導を行う。</p>				
学習到達目標	<p>これまで学習して知識・技能を、様々な業務場面に応用できる。</p> <p>情報処理推進機構(IPA)が公開するLv.3シラバスの内容に基づいた以下の応用知識を身につけ、目標資格に合格することができる。</p> <p>① データベース(方式、設計・操作・処理、応用技術)</p> <p>② システム開発技術(要件定義、設計、構築、テスト、導入、受入れ支援、保守・廃棄)</p> <p>③ ソフトウェア開発管理技術(プロセス・手法、開発環境・構成・変更管理)</p> <p>④ サーマネジメント(設計・移行、プロセス、運用、ファシリティマネジメント)</p> <p>⑤ システム監査(監査、内部統制)</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1 ～ 3	データベース			
	4 ～ 6	システム開発技術			
	7 ～ 9	ソフトウェア開発管理技術			
	10 ～ 12	サービスマネジメント			
	13 ～ 14	システム監査			
	15	総合テスト			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	応用情報重要ポイント100	株式会社インフォテック・サーブ		
	副教材	応用情報技術者試験対策 補助資料	(内製教材)		
	〃	ネットワークとシステム開発の基礎	株式会社エスシーシー		
	〃	企業活動とITマネジメント	株式会社エスシーシー		
実習環境	なし				
目標資格	資格名		実施団体		
	応用情報技術者試験		独立行政法人 情報処理推進機構		
	情報処理安全確保支援士試験		独立行政法人 情報処理推進機構		
成績評価方法	ペーパーテスト		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：大学-308

科目名		時間数(90分)			
高度情報セキュリティ技術評価と対策		講義	演習	実習	合計
		45	0	0	45
科目概要	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティをテクノロジーとマネジメントの両面から学習し、情報セキュリティについて、幅広い知識を身に付ける。また、過去年次の学習内容を発展させ、情報セキュリティに関する理解を深める。 				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティの必要性を時代背景とともに理解できる。 ・セキュリティを学ぼうえで、前提となるネットワーク技術が理解できる。 ・暗号技術の分類と代表的な手法が理解できる。 ・情報社会をとりまく脆弱性の知識を持ち、適切に対応できる。 ・情報セキュリティマネジメントにおける、ユーザー教育の重要性が理解できる。 				
講義計画	回	内容		回	内容
	1 2 3 ～ 5 6 ～ 10 11 ～ 14 15 ～ 21 22	情報セキュリティの概要 暗号技術 ネットワークと認証の基礎 多様なネットワーク技術とセキュリティ 攻撃の概要 情報セキュリティポリシーと脆弱性検査		23 24 ～ 27 28 29 30 31 32 33 34 ～ 44 45	情報セキュリティポリシーと脆弱性検査 認証技術 アクセス制御と強化、環境整備、物理セキュリティ 無線 LAN フォレンジックス 国家試験のセキュリティ系過去問題の演習 科目試験
使用教材	書籍名			出版社	
	主教材	情報セキュリティ教本 改訂版		実教出版	
副教材					
実習環境					
目標資格	資格名			実施団体	
	情報処理安全確保支援士			独立行政法人情報処理推進機構	
成績評価方法	<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可				

科目番号：大学-301

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
PHPプログラミング		0	0	30	30
科目概要	2年時にWeb言語であるHTMLを学んでいることから、Web言語の応用としてPHP言語を学習する。 選考科目としてDB実習を学習しており、mysqlを利用しデータベースの構築などをおこなっていることから、データベースも扱うこととする。				
学習到達目標	Web言語のPHP言語のスキriptや関数等がわかるようになる。 ショッピングサイトの作成ができるようになる。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	PHPについて	15	グループ演習	
	2	リクエストパラメータと変数	～		
	3	チェックボックスとラジオボタン	29		
	4	セレクトボックスとループ及び配列	30	科目試験	
	5	関数 日付関数, ランダム関数等			
	6				
	7	データベースの基本操作			
	8	データベースから商品データの検索			
	9	データベースから商品データの削除			
	10	商品や顧客などの情報を格納するデータベース作成			
	11	会員情報の登録機能の作成			
	12	ショッピングカート機能の作成			
	13	お気に入りの商品を登録機能の作成			
	14				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	確かな力が身に付くPHP「超入門」2版	SBクリエイティブ		
	副教材				
実習環境	xampp				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 科目試験 (60%) 実習課題 (40%) 		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		
科目方針					

科目番号：大学-307

科目名		時間数(90分)				
データベース設計実習		講義	演習	実習	合計	
		0	0	45	45	
科目概要	Access を用いてリレーショナルデータベースの設計から構築までを学習する。また、過年度で学習した SQL を用いてデータベースの操作を行う実習を行い、SQL の復習を行う。					
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Access を利用してデータベースの作成と、テーブル・クエリ・フォーム・レポートの作成ができる。 リレーション（関連付け）を意識したテーブル設計ができる。 SQL を用いてデータベースを操作することができる。 グループ演習を通じてデータベース設計書を作成し、それと基にデータベース設計ができる。 グループ演習を通じてコミュニケーションや情報共有の重要性が理解できる。 					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	Access データベースとは		16	グループ演習 (E-R 図の作成)	
	2			17	グループ演習	
	3	SQL の復習		18	(データベース定義書・設計書の作成)	
	~			19	グループ演習	
	5			20	(画面レイアウト・画面遷移図の作成)	
	6	正規化の復習		21	グループ演習 (Access による実装)	
	7			~		
	8	Access の機能について学習		27	グループ演習 (プレゼンテーション準備)	
	~	・テーブル ・クエリ ・レポート ・フォーム		28		
	~			~		
	~			44		
	12			45	グループ演習 (発表)	
	13	グループ演習 (DFD の作成)				
	14					
	15	グループ演習 (E-R 図の作成)				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	自分でつくる Access 販売・顧客・帳票管理システムかんたん入門 2016/2013/2010 対応		株式会社 マイナビ出版		
	副教材	なし				
実習環境	Microsoft Access2016					
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> グループ演習による成果物 (80%) 出席 (20%) 			<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：大学-305

科目名		時間数(90分)			
ソフトウェアエンジニアリング		講義	演習	実習	合計
		15	0	0	15
科目概要	ソフトウェアエンジニアリングの基本を理解し、ウォーターフォール型開発モデルでの開発手法を習得する。				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアエンジニアリング（ソフトウェア工学）の必要性について理解できる。 ウォーターフォール型開発モデルでの開発手法を理解する。 UML や DFD といった図表を読み取ることができる。 				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ソフトウェアエンジニアリングとは	16		
	2	・ソフトウェア工学の意義	17		
	3	・ソフトウェアの専門的定義 ・要求定義～保守の流れ	18		
	4	方法論の体系化	19		
	5	・ウォーターフォールモデル	20		
	6	・外部設計と内部設計の違い	21		
	7	・チャート記法(UML, DFD)	22		
	8	ウォーターフォール型開発モデル	23		
	9	・開発プロセスと要求定義・要件定義	24		
	10	・設計(外部設計、内部設計)	25		
	11	・製造とテスト	26		
	12		27		
	13	国家試験過去問題を利用した演習	28		
	14		29		
	15	科目試験	30		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの新人研修第3版	翔泳社		
	副教材				
実習環境	なし				
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		独立行政法人 情報処理推進機構		
	応用情報技術者試験		独立行政法人 情報処理推進機構		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 科目試験(90%) 出席(10%) 		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：大学-306

科目名		時間数(90分)			
ソフトウェア開発技術		講義	演習	実習	合計
		15	0	0	15
科目概要	アジャイル開発手法について、従来型のウォーターフォール開発手法との相違点、優位点を理解する。また、プロジェクトマネジメントについて学ぶ。				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> アジャイル開発手法の用語を理解する。 アジャイル開発手法と、従来型のウォーターフォール開発手法との相違点や優位点を説明できる。 ウォーターフォール・アジャイルに共通のプロジェクトマネジメントの概要を理解する。 				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	科目「ソフトウェアエンジニアリング」の復習	16		
	2	アジャイル開発モデルでの開発	17		
	3	アジャイル型開発モデルとウォーターフォール開発モデルの違い	18		
	4	プロビジョンの共有	19		
	5	スプリントでの活動	20		
	6		21		
	7		22		
	8	プロジェクトマネジメント	23		
	9	プロジェクトマネジメントの体系	24		
	10	PMBOKの構成	25		
	11		26		
	12	セキュリティ	27		
	13	システム開発のセキュリティ	28		
	14	総まとめ	29		
	15	科目試験	30		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの新人研修第3版	翔泳社		
	副教材				
実習環境	なし				
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		独立行政法人 情報処理推進機構		
	応用情報技術者試験		独立行政法人 情報処理推進機構		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 科目試験(90%) 出席(10%) 		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：大学-309

科目名		時間数(90分)			
販売士		講義	演習	実習	合計
		45	0	0	45
科目概要	販売士として必要となる販売事務や販売管理、法令等に関する知識、および流通業の仕組みや役割などの知識を学習する。また、顧客業務の(汎用的な)業務知識について、システムエンジニアの視点で学ぶ。				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアやスーパーマーケットなどの身の回りの店舗について、流通の仕組みが理解できるようになる。 ・リテールマーケティング(販売士)検定3級に合格できる程度の知識を理解できるようになる。 				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1 ～ 12	①小売業の類型 科目の意義の説明 流通における小売業の基本 組織形態別小売業の基本 店舗形態別小売業の基本的役割 商業集積の基本 ①の科目試験を実施	33 ～ 41	③ストアオペレーション ストアオペレーションの基本 放送技術の基本 ディスプレイの基本 作業割り当ての基本 ③の科目試験を実施	
	13 ～ 23	⑤販売・経営管理 販売員の役割の基本 販売員の法令知識 計数管理の基本 店舗管理の基本 ⑤の科目試験を実施	42 ～ 45	④小売業のマーケティングの基本 顧客満足経営の基本 商圈の設定と出店の基本 リージョナルプロモーションの基本 顧客指向型売り場づくりの基本 ④の科目試験を実施	
	24 ～ 32	②マーチャндаイジング 商品の基本 マーチャндаイジングの基本 商品計画の基本 販売計画および仕入計画などの基本 価格設定の基本 在庫管理の基本 販売管理の基本 ②の科目試験を実施			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	販売士3級ハンドブック(上巻・下巻)	株式会社キャリアック		
	副教材	1回で合格!リテールマーケティング(販売士)検定3級テキスト&問題集	成美堂出版		
実習環境	なし				
目標資格	資格名		実施団体		
	リテールマーケティング(販売士)検定3級		日本商工会議所		
成績評価方法	・科目試験		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：大学-321

科目名		時間数(90分)				
特別講座3 (大学 システム開発専攻、ネットセキュリティ専攻)		講義	演習	実習	合計	
		60			60	
科目概要	経済産業省主催の情報処理技術者試験(基本情報、応用情報、情報処理安全確保支援士、ITパスポート、情報セキュリティマネジメント)の対策講座を実施する。					
学習到達目標	上記の資格取得を目標に講座を展開する。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1 ～ 60	対策授業(前期日程試験) ・基本情報技術者試験 ・情報セキュリティマネジメント試験 ・応用情報技術者試験 ・情報処理安全確保支援士 対策授業(CBT試験) ・ITパスポート試験				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	基本情報 STEP UP 演習 表計算対策		インフォテック・サーブ		
	主教材	基本情報 STEP UP 演習 アルゴリズム対策		インフォテック・サーブ		
	主教材	基本情報 STEP UP 演習 知識応用対策		インフォテック・サーブ		
	主教材	基本情報 午前問題集		インフォテック・サーブ		
	主教材	応用情報 午後の重点対策		iTEC		
	主教材	情報セキュリティマネジメント 予想問題集		iTEC		
	主教材	情報処理安全確保支援士 パーフェクトラーニング対策問題集		技術評論社		
	副教材	既往問題(情報処理技術者試験)				
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
	経済産業省主催	基本情報技術者試験		独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)		
経済産業省主催	応用情報技術者試験					
経済産業省主催	情報処理安全確保支援士試験					
経済産業省主催	情報セキュリティマネジメント試験					
経済産業省主催	ITパスポート試験					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 模擬試験の平均(50%) 出欠状況(50%) 			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
就職対策1		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	これから就職活動を行う人を対象とします。その他、特に受講条件はありません。				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ就職するのか」という本講座の目的を理解し、概要を把握する。 ・「なぜ自己分析をするのか」「自己分析で何を見つけるのか」といった、自己分析の目的を正しく理解する。自己分析の方法（ステップ）を理解する。 ・「なぜ職種・業種研究をするのか」「これが疎かだとどうなるのか」を理解する。 ・自己分析結果から自分の適性や志向性を見つけ、それに合う職種や業種について考察する意味を理解する。 ・憧れやイメージだけではなく、広い視野で「仕事」を考える。 ・「なぜ企業研究をするのか」「これが疎かだとどうなるのか」を理解する。 ・自分自身と同様に企業（相手）のを知る必要性を理解する。 ・職種、業種研究の結果を踏まえて、企業を考察することができる。 ・「何のために履歴書やエントリーシートを作成するのか」を理解する。 ・履歴書、エントリーシート作成のポイントを理解する。 ・会社訪問、会社説明会、就職セミナーなどで、企業と接することの重要性を理解する。 ・「見られる」とことと「見る」とことの意味と目的を理解し、チャンスを最大限に活かすために準備すべきことを知る。 ・筆記試験の種類と傾向を知り、効率よく効果的な習得方法の知識を得る。 ・就職試験の論作文の目的は何かを理解する。 ・論作文の作成手順、基本構成である「起承転結」、作成上の注意点を理解する。 ・「起承転結」のバリエーションの構成方法と、その特徴を理解する。 ・面接試験の定番質問の意図を理解し、適切な受け応えを考える。 ・内定後、入社までになすべき手続き、準備、心構えを理解する。 ・これからの就職活動について、具体的に計画を立てる。 				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	学生から社会人へ～就職するって？～	8	筆記試験～やった分だけ力になる～	
	2	自己分析～何のため？自分のため！～①	9	作文・論文 ～正しい日本語、適切な日本語～①	
	3	自己分析～何のため？自分のため！～②	10	作文・論文 ～正しい日本語、適切な日本語～②	
	4	職種研究・業種研究～自分に合った仕事は？～	11	面接試験 ～ここでアピールしなければ！～①	
	5	企業研究・企業選択 ～相手のこともよく知ろう～	12	面接試験 ～ここでアピールしなければ！～②	
	6	提出書類～履歴書作成にも練習あり～	13	内定後～これからはじまりだ！～	
	7	会社訪問の心構え	14 ～ 15	就職活動の身だしなみ	
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	就職対策	電子開発学園		
	副教材	就職活動のガイドライン	KCS 北九州情報専門学校		
		就活力アップ筆記試験対策 ベーシックドリル 一般常識&SPI2	実教出版		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	まじめに取り組み、自己分析などの机上演習課題と履歴書の清書を提出すること。		<評価基準> 3分の2以上の出席：認定		

科目番号：共通-206

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
就職対策2		30			30
科目概要	就職試験に向けて知識と即応力の養成を図る。一般常識や作文などを学習し筆記試験に対応できるよう実力を養成する。 また、面接に関しては、ロールプレイングを取り入れ演習する。				
学習到達目標	筆記試験・面接で合格ができ、早めに内定が取れるようにする。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	職業の選択について			
	2	職業の選択について			
	3	履歴書作成・確認と面談			
	4	履歴書作成・確認と面談			
	5	自己PRの作成と面接練習			
	6	自己PRの作成と面接練習			
	7	自己PRの作成と面接練習			
	8	自己PRの作成と面接練習			
	9	自己PRの作成と面接練習			
	10	自己PRの作成と面接練習			
	11	筆記試験対策と面接練習			
	30				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	就職活動ガイドブック			
	副教材	プリント			
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	特になし				
成績評価方法	<評価基準> 3分の2以上の出席：認定				